

2018年(平成30年)5月28日

「宇沢弘文の社会的共通資本を 再考する」シンポジウム

公益社団法人 土木学会 第105代会長
大石 久和

1

社会の理解・問題の抽出と 解決の模索

事実 と 論理
が不可欠

2

社会的共通資本 (Social Common Capital)

- ゆたかな経済生活を営み、すぐれた文化を展開し、人間的に魅力ある社会を持続的、安定的に維持することを可能にするような自然環境や社会的装置。
- 社会全体としての共通の財産であり、それぞれの社会的共通資本にかかわる職業的専門化集団により、専門的知見と職業的倫理観にもとづき管理、運営される。
- 一人一人の人間の尊厳を守り、魂の自立を保ち、市民的自由を最大限に確保できるような社会を志向し、真の意味におけるリベラリズムの理念を具現化する。

3

社会的共通資本の類型

社会的共通資本の具体的形態:三つの類型*

- (1) 自然環境：山, 森林, 川, 湖沼, 湿地帯, 海洋, 水, 土壌, 大気
- (2) 社会的インフラストラクチャー：道路, 橋, 鉄道, 上・下水道, 電力・ガス
- (3) 制度資本：教育, 医療, 金融, 司法, 文化

* この分類は必ずしも網羅的ではなく排他的でもない
あくまで社会的共通資本の意味を明確にするため類型化

- それぞれの社会的共通資本にかかわる職業的専門化集団により、専門的知見と職業的倫理観にもとづき管理、運営

4

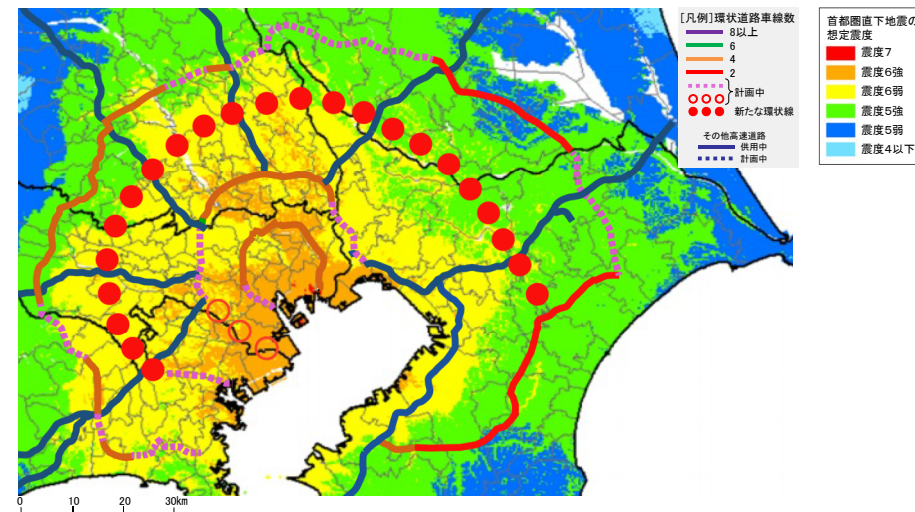
<「もう、いらない」と言っているのに、
強権を発動してダムや堤防を無理やり
つくって押しつける>

(経済と人間の旅)

- 用地取得率80%以上で事業認定の申請へ
- あるバイパス
 - ・・・用地取得率91.4%で事業認定告示

5

首都圏内環状道路構想



6

<欧米では歩車道が分離されていない
道路は、原則として（自動車の：大石注）
通行が認められていない>

(経済と人間の旅)

7



8



9

＜洪水はダムを築いて防ぐのではなく、
川の上流や流域に豊かな森林をつくって
防ぐ＞
(経済と人間の旅)

『森林飽和 — 国土の変貌を考える —』 (NHKブックス)
太田猛彦氏：東京大学・森林環境学・森林水文学

日本学術会議・2001年

「大洪水では森林保水力効果が期待できない」

10

＜(ダムや堤防を無理やりつくった・大石注)
その結果、国と地方を合わせて666兆円に
及ぶ負債を抱えることになった。この莫大
な借金を背負い、何十年にもわたって返済
の責務を果たさなければならないのは、
子どもたちなのである＞
(経済と人間の旅)

11

平成29年度末(見込)の 国債・借入金残高の種類別内訳

(単位:億円)

合 計	内 国 債	普通国債	建設国債	
12,235,462	9,653,609	8,651,579	特例国債	2,743,811 (22.4)
(100.0)	(78.9)	(70.7)	減税特例国債	5,584,772 (45.6)
			日本国有鉄道清算事業団承継債務借換国債	2,150 (0.0)
			国有林野事業承継債務借換国債	172,356 (1.4)
			交付税及び譲与税配付金承継債務借換国債	19,632 (0.2)
			復興債	21,884 (0.2)
			年金特例国債	65,772 (0.5)
			財政投融资特別会計国債	41,204 (0.3)
			交 付 国 債	945,226 (7.7)
			出資・抛出国債	2,014 (0.0)
			株式会社日本政策投資銀行危機対応業務国債	41,543 (0.3)
	借 入 金	595,314	借 入 金	13,247 (0.1)
		(4.9)	短期借入金(5年未満)	132,131 (1.1)
	政府短期証券	1,986,539	財政融資資金証券(年度越の額)	463,182 (3.8)
		(16.2)	外国為替資金証券(年度越の額)	20,000 (0.2)
			石油証券(年度越の額)	1,950,000 (15.9)
			食糧証券(年度越の額)	13,114 (0.1)
				3,425 (0.0)

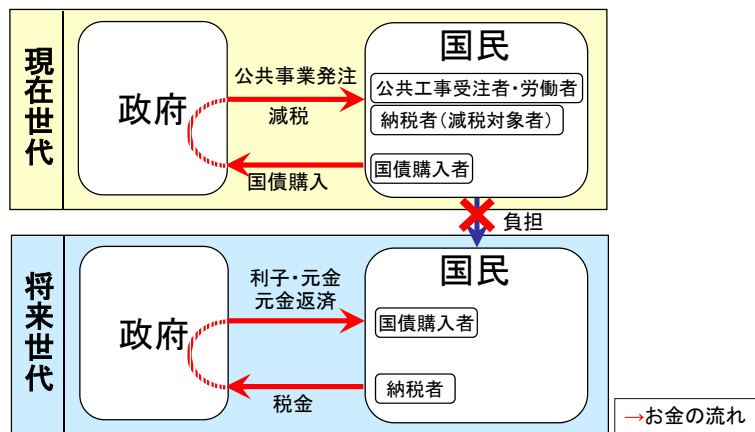
(注)1. 本表は、29年度当初予算の計数である。

(注)2. 単位未満四捨五入

12

国債は将来世代への負担か？

- 国債など公債は、外部あるいは将来への借金というよりも世代内でお金のやりとりである。
(小野善康：大阪大学社会経済研究所教授)



出典：「景気と経済政策」小野善康より作成

13

国債は将来世代への負担か？

- 国債の負担が後世代に残ることはない。
(野口悠紀雄：早稲田大学大学院教授)

- 国債が償還される時点で財政には負担が生じるが、償還額は国債保有者が得る
⇒国全体では、利用できる資源が減ることにはならない。
- 国債を発行した時点で財政が使える資源は増大するが、国債の購入者はその分だけ支出を減らしているの、国全体として利用できる資源が増大したわけではない。

出典：「WOW! WOW!経済塾 第18回 国債を償還しないことは可能か？」週刊東洋経済 2006.7.15 野口悠紀雄氏

14

「政府がお金を使わなければならないが・
1000兆円も国の借金があるし」というが…

■ 国債の信認度（金利）（すべて10年もの）

日本	0.059
アメリカ	3.115
ドイツ	0.640
イギリス	1.558
フランス	0.866
イタリア	2.121
ギリシャ	4.439

(2018年5月18日現在)

15